

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 ..... 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- \*賛美 ..... 341番
- \*交読文 ..... 39番
- \*使徒信条 ..... 会衆一同
- \*頌栄 ..... 107番
- 礼拝のための祈り ..... 川合ゆきえ姉妹
- 賛美 ..... 349番
- メッセージ ..... 落穂拾い(ルツ記2章(1-3))
- 御言葉を適用する祈り .. 会衆一同
- 賛美 ..... 358番
- 献金感謝の祈り ..... パスター
- 報告と歓迎 ..... 申さん一家が明日韓国へ帰られますので、昼食を交えつつ、ささやかな会を催します。
- \*主の祈り ..... 会衆一同
- \*祝祷 ..... パスター

祈禱課題

- この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- 病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- 兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- 主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられる ように
- 終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れてお祈り下さい)

わたしは、あなたのはしため\_\_\_\_\_です。どうぞあなたの衣の裾を広げて、このはしためを覆ってください。あなたは家を絶やさぬ責任のある方です。(ルツ 3:9)

\_\_\_\_\_は再び「捨てられた女」と呼ばれることなく\_\_\_\_\_の土地は再び「荒廃」と呼ばれることはない。\_\_\_\_\_は「望まれるもの」と呼ばれ、\_\_\_\_\_の土地は「夫を持つもの」と呼ばれる。主が\_\_\_\_\_を望まれ、\_\_\_\_\_の土地は夫を得るからである。若者がおとめをめとるように、\_\_\_\_\_を再建される方が\_\_\_\_\_をめとり、花婿が花嫁を喜びとするように、\_\_\_\_\_の神は\_\_\_\_\_を喜びとされる。(イザヤ 62:4-7)

ルツは信仰告白によって、ナオミに希望と喜びをもたらし、ひいてはイスラエル全体に祝福をもたらす器となったが、ベツレヘムに着いた時の彼女は、頼るべき男神も、財産も一切無い、異国出身の未亡人であり、ただ傷心に沈んでいる、無力なナオミと一緒にいただけだった。その時ルツは自分には何も出来ないと思っただろうし、一体何から行えば良いかも分からなかっただろう。そんな彼女が、祝福の器へと変えられた第一歩は、落ち穂拾いであった。

イスラエルはルツにとって見知らぬ土地であり、外国人の彼女が、人様の畑に行って落ち穂を拾い集めるなど、どれほど勇気が要っただろう。人からいじめられて当然の行為(2:22)であるが、それでも、ただ膝をかがめて、憐れみにすがるしかない。そんな事は、よほど心砕かれていないと出来るものではない。困った状況に陥った時、「自分は大丈夫だ」「人の憐れみなどいらない」などとやせ我慢をしてしまうと、そのプライドが更に自分を苦しめ、最後にはどうにもならない所へと、追い詰められてしまう。神の恵みを頂くには、まず、そのような「誇り高さ」や「自尊心」は、打ち砕かれていなくてはならない。どうすれば落穂(恵み)を拾う事ができるか？ それは、膝について、低くかがむ事から始まる。傷心のナオミと共に引きこもって、自分の境遇を嘆いたり、過去を思い巡らして自己憐憫に陥っていて何もしなかったりすると、落穂はどんどん鳥についばまれてしまい、落穂を眺めつつプライドのために膝を屈める事をしないと、恵みのチャンスはどんどん逃げて行き、家族はどんどんお腹を空かせて行く。主は憐れみ深い。どんなにそしりを受けても、口をちりにつけて主の救いを黙って求めるなら、主はいつまでも見放してはおられず、豊かな恵みによって憐れんでくださる。(哀歌 3:22-32)

ルツは思い切って、刈り入れをしている一つの畑に飛び込んだが、「そこはたまたまエリメレクの一族のボアズが所有する畑地であった。」(2:3)

エリメレクはナオミの夫で、ルツはそれとは知らずに飛び込んだのだが、それは単なる偶然ではない。ルツがこの畑に飛び込んだのも、ダビデがゴリアテに致命傷を負わせる石を放ったのも、一人の兵が悪王アハブに致命傷を負わせる矢を放ったのも、それら全ては「たまたま」であったが、主は導きによって、人や環境、状況を支配して御心を行い、信仰を持って第一歩を踏み出す者に、恵みを与えて下さる。しかし、畑に飛び込まない者、石を投げない者、弓矢を引かない者には、何も下さらない。

ルツはプライドを捨て、信仰により落穂拾いへと身を投じ、そうして将来の夫・ボアズの保護下へと導かれたように、私達も、誇り高ぶる心を捨て、主の前に膝をかがめ身を低くする事によって、まことの夫であるキリストの保護下へと導かれるのだ。

ボアズは、ルツの精一杯の信仰告白を既にすっかり聞いており(2:11)、ルツが落穂を拾う事をじゃましないように若者たちにきつく命じた(同9節)ように、私達の主も、私達の小さな精一杯の信仰告白をしっかりと聞いて下さり、私達が恵みを拾うことを邪魔しないよう全ての物事にきつく命じてくださる。

ボアズはルツに、パン切れと酢に浸して食すよう、ねんごろに誘い、十分な量の煎り麦を与えてくれたように、私達の主も、キリストのからだを共に食しなさいと親しく語りかけ、家族を養う程の食料を与えて下さる。ボアズはルツが束の間でも穂を拾うことを赦し、しかもわざと穂を抜き落とすよう僕達に命じ、叱ったり恥ずかしい思いをさせないよう命じたように、私達の主も、大胆に恵みの座に近づいて、折にかなった助けを存分に得る事を許され(ヘブル 4:15-16)、恵みをわざと落とし、恥ずかしい思いをさせないよう命じて下さる。

『「お前は誰だ」とボアズが言うルツは答えた。「わたしは、あなたのはしためルツです。どうぞあなたの衣の裾を広げて、このはしためを覆ってください。あなたは家を絶やさぬ責任のある方です。』(3:9 新共同訳) この告白はボアズを喜ばせ祝福させたように、私達も主になりふり構わず、体当たりで主に迫るべきである。私たちの居場所は、キリストの衣の内側であり、キリストの脇腹の中である。そこから迷い出る事なく、贖いの衣の内に包まれ、愛の内に生まれ、家族と子ども養っていただく皆さんでありますように！ イエス様の名前によって祝福します！

# 横浜天声キリスト教会

## 礼拝 週報



### 集会案内

日曜礼拝	
1部礼拝(韓国語通訳あり)	10:30
食事/フェローシップ	12:00～
2部礼拝	14:00
聖書勉強会	15:00

日々の集会		
月～金	早天祈祷会	5:00～
火・木	夜の祈祷会	21:00～
水曜集会		
1部		13:00～
2部		19:30～
金曜徹夜祈祷会		21:00～

### アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅  
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分  
JR・関内駅より徒歩10分  
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、  
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、  
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で

聖書メッセージをメールで  
毎日携帯にお届けします。  
左記コードを読み込み、  
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I -201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: [ephes\\_03-tensei@yahoo.co.jp](mailto:ephes_03-tensei@yahoo.co.jp)



モバイルサイト